



高土第 91 号  
平成19年 5 月 8 日

国土交通省道路局長 様

高島市長 海東英和



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

平成19年4月2日付け国道企画第114号にて依頼のありました標題の件について、下記のとおり意見を提出します。

記

今後の道路施策や道路の整備・管理についての意見

道路は市民の日常生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な公共施設である。

高島市を通る国道等の幹線道路網は161号が京阪神地域と北陸地域、303号が福井県若狭地域、367号が大津市・京都市と結んでいるほか、琵琶湖岸を周遊する湖週道路等であります。

平成17年1月に6町村の合併で発足した本市のまちづくりでは、国道161号はもとより日常生活を支える県道や幹線市道の道路網整備は喫緊の課題であります。

—— 国道161号バイパスの早期全線開通を ——

国道161号は、北陸圏と近畿圏を連携することにより、地域経済の活性化・産業

の振興・文化の交流など都市機能の向上に寄与し、沿線の地域開発プロジェクトを促進させ、活力あるまちづくりをより一層加速させるものであり、本市にとっては最も重要な路線であります。

こうしたことから、国においては、湖北バイパスをはじめとする国道161号バイパスの整備促進を図って頂いているところであり、平成13年度には、湖北バイパスや志賀バイパスの部分供用が図られ、周辺道路の交通環境の改善に大きく寄与しており、沿線住民も大変喜んでおります。

しかしながら、当路線には、まだまだ未整備区間も多く、恒常的な渋滞をきたし、日常生活に支障を及ぼしているのも事実であり、沿線住民の利便性と安全性を確保する当該道路整備の要請は極めて高いものがあります。去る4月14日には本市全域の区長・自治会長会議（年2回、197区・自治会）が開催され、道路関係に対する要望が多く、特に161号バイパスの早期全線開通の強い要望があったところであります。

本市の市民にとっても日常生活を支える重要な道路であることから、一日も早く全線整備供用されるようお願い致します。

現在本市と隣接の福井県敦賀市において、北陸自動車道へのアクセス道として、国道8号線のトンネル工事が進められておりますが、そこに通じる161号（高島市マキノ町野口から国道8号敦賀市の間）も道路形態は連続した急カーブも多く、事故が多発し、また一部区間においては異常気象時に通行規制を受けている道路でもあります。

本市にとって北陸地域を結ぶ地域間の観光、産業、経済の交流促進を図るための重要な生命線でもある国道161号であり、真に必要な道路整備としての地域格差のない道路づくりを願うものであります。

#### —— 国道303号追分トンネルの早期事業化を ——

国道303号は、岐阜県岐阜市を起点とし、滋賀県の湖西地域（高島市）を東西に貫き、福井県の若狭町までを結ぶ重要な幹線道路で、特に古くから湖西地域と若狭地域の間を「九里半街道」と呼び、多くの人々に親しまれ産業の振興・文化の交流など地域の振興に大きく寄与してきました。こうした古くから親しまれた路線であり、今後さらなる地域の振興と活力ある地域づくりを実現するため、琵琶湖西岸を走る国道161号などとの幹線道路ネットワークの形成に向け、追分隧道の実現化を切望しま

す。

—— 地方の道路整備はまだまだ ——

高島市域の面積は511km<sup>2</sup>と膨大であり、市道の改良率は36.7%と道路の整備水準はまだまだ不十分で、高齢化率が25.5%の高島市地域での生活を維持し定住を促進するには、雇用を確保し救急医療体制を整えることが急務で、そのためのライフライン、道路整備は切実であります。

また、厳しい地方財政事情の中で、今後インフラの大規模な更新需要が集中することが予想され、維持、補修、更新を考える、いわゆるストック有効利用という事は当然であり、限られた財源の中で効率的に管理することも道路行政、道路事業の柱として求められていることと考えます。

こうしたことから、19年度より国においては、自治体の効率的な道路管理を支援する新規制度として、道路橋の長寿命化修繕計画策定事業の創設がなされたところであり、大きな期待を寄せています。

本市も合併後2年を経過し、今年度は市全体の道路網（ネットワーク）の現状調査を行い、広い視点での検証から、市としての道路ストックを質・量ともに確認し、これを有効活用するための方策を検討することを通じて、今後の道路行政（整備）の方向性を明らかにした目標を定める計画であります。

下記に示す本市の道路状況より、道路特定財源の確保と地方の道路整備が着実に推進できることが強く求められていることを見極めて頂きたい。

#### 高島市の道路現況

・ 市	道	総延長	772 km
		実延長	765 km (内幹線1、2級道路197 km)
		改良率	36.7% (幹線65.0%) 橋梁数743橋
・ 主要地方道3路線	総延長	49.3 km	実延長 31.5 km
	改良率	68.9%	
・ 一般県道21路線	総延長	155.6 km	実延長153.7 km
	改良率	71.0%	

以上のとおり、地方の道路整備はまだまだであり、今後の道路施策や道路整備について、次のとおり意見を提出します。

・ 重点化を進める上で特に優先度の高い施策

[国道161号・国道303号・国道367号]

1. 地域発展の核となる地域相互の交流促進、広域交流拠点と連結する地域高規格道路の早期整備完了。
2. 緊急輸送道路の重点整備。
3. 急峻な山岳地形、急カーブや急勾配の連続する幅員の狭小な危険箇所の早期改修完了。

・ 効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

1. 沿道地域の景観や防災施策を配慮した道路構造の構築。
2. 渋滞を対策する交差点改良。

・ その他、道路施策や道路の整備・管理全般に関する意見

1. 地域生活道路（市道）の維持管理に関する技術的・財政的支援。
2. 幹線道路での渋滞発生時に緊急輸送通路を確保する施策。
3. 道路利用者のマナーを向上する施策
4. わかりやすい案内板の整備。

以上